

平成29年度 「特色ある学校づくり事業」 実践事例

佐世保市立日野小学校

佐世保市日野町1308番地

校長 湯村 賢二

児童数 549名

学級数 22学級

(平成29年5月1日現在)



教育目標

- かけがえのない命を大切にする心豊かな児童の育成を図る
- 児童一人一人の基礎学力の確実な定着と向上を図る
- 困難にもくじけることなく互いに切磋琢磨し合うたくましい児童の育成を図る

テーマ

- 郷土を知り、郷土を愛する心を育てる
- コミュニケーション力の向上を図る

目的

豊かな人間性を育成するために児童・地域の実態を踏まえ、多くのひと・もの・こととふれ合い、学校教育目標の推進と創意工夫を生かした特色ある学校づくりを実践する。

実践内容

「郷土とともに歩む学校づくり（地域の匠作品展）」

- 人々の思いや生き方に触れることを通して本校教育目標を達成するために、今年8年目となる「地域の匠作品展」を11月末に開催した。町内10自治会、公民館、福祉施設ライム、ドリーム日野など外部人材・外部団体との連携・協力の機会を得、開かれた学校づくりが推進できた。今回の展示作品は計97点（書・絵画・陶芸・手芸・写真など）。日野地区内の住民、保護者、児童など750名の参観があった。「写真や押絵、油絵、額に入っているものに興味がひかれます。毎年この匠展が開催されることが又、がんばれます。」という意見が聞かれ、地域の方も楽しみにされていることを実感した。また、作品を通じた地域交流を図ることが出来た。



「地域の匠展」の様子

第1学年「『昔遊び』でふれあいを」

- 1年生の児童は、生活科「たのしさ見つけたよ ふゆ」の学習で、昔遊びに親しんだ。友達と教え合ったり、昼休みに6年生から佐世保ごまのまわし方を教わったりしながら、少しずつ上達していった。児童の祖父母、父母にも声をかけて「むかしあそび交流会」を行った。約50名の方が来てくださり、あやとり・おはじき・お手玉・こま回し・竹馬・羽根つき・かるた・だるま落とし・けん玉の遊びで、一緒に遊んだり教えたりして触れ合ってくくださった。たくさんのおじいさん、おばあさん、お父さん、お母さんと話したり、教わったり、尋ねたり、一緒に遊んだりするよいふれあい体験ができた。
- 一年間いろいろなことを教わってふれあった6年生への感謝とお祝いの気持ちをこめて、ビオラやノースポール、チューリップなどを植える栽培活動に取り組むことができた。



第2学年「おもちゃ大会」

- 生活科の学習で、おもちゃを作って楽しく遊ぶ学習を行った。材料を集めたり、試行錯誤を繰り返して作ったりし、遊び方も考えて自分たちで工夫して楽しく遊ぶことができた。その体験を生かし、1年生や近隣の幼稚園、保育園の園児達、保護者を招いて、計3回「おもちゃ大会」を開催した。事前にグループでおもちゃを決めて作ったり、遊び方を話し合ったりするなど、協力して準備をした。回を重ねるごとに改良を加え、園児たちを招待しての活動では、お兄さん・お姉さんとしての意識も高まり、子ども達の成長を感じられる貴重な体験をすることができた。また、卒園した幼稚園や保育園の先生方にも久しぶりに会うことができ、成長した様子を見せることができた。



第3学年「知ろう、守ろう、わたしたちの九十九島」

- わたしたちの住む郷土「佐世保」には西海国立公園・九十九島がある。日野小校区も含まれる九十九島の豊かな自然について知り、九十九島の自然を大切にしていこうことを目的として学習をすすめてきた。
- 「九十九島パールシーリゾート」と連携し、年間6回にわたり水族館「海きらら」や「ビジターセンター」、長尾半島に出かけ、九十九島全般について楽しく学習をすることができた。カブトガニやイルカ、クラゲなどの生態についても詳しい話を聞いたり、質問をしたりするなど充実した活動となった。九十九島が国立公園であることと同時に、自分の地域にも自然豊かな環境があるという意識やその環境を守るという気持ちを育てるうえでもこの学習は有効であった。



長尾半島ウォークラリーの様子



海きららでのイルカの学習

第4学年「日野っ子エコ大作戦」

- 4年生は、環境学習の一環として「エコ」をテーマに、ごみの減量化や節水・節電などを通して、自分達で環境をよくすることについて考えることができた。また、家庭や学校から出る生ごみを有効に活用するために、EM菌を活用したボカシ肥を使った野菜作りに挑戦した。GTとして、環境アドバイザーの田口昭子さん等に来ていただき、ボカシ肥の作り方やその有効性を学んだ後、実際にボカシ肥を活用し、野菜の種まき、野菜の調理などを行った。学年全体で活動に取り組み、自分たちでできるエコ活動を実践することを通して、環境を守るために努力する態度の向上を図ることができた。



ボカシ肥と使って育てた野菜の収穫



野菜の調理

第5学年「今を生きる」～福祉～

- 前期は、高齢者・視覚や聴覚に障がいを持つ人の疑似体験学習を行った。また、視覚・聴覚に障がいを持つ方から直接、生活体験を聞いたり、高齢者に多い認知症について講話を受けたりして、「福祉」という考え方が社会でどのように浸透しているかを学習し、自分たちにできることを考えることができた。後期は、高齢者施設を訪問して出し物をしたり、ふれあいをしたりするなど交流活動を行った。そして、1年間で学習した内容をグループごとにまとめ、プレゼンテーションソフトを活用して発表を行った。



高齢者施設での交流活動



手話を習う

第6学年「長崎を知ろう」

- 自分たちの住む郷土「日野」「佐世保」「長崎」という地域について歴史や史跡、その特色など詳しく学習し、ふるさとのすばらしさに気づき、地域を誇りに思い大切にしていけることを目的として学習をすすめてきた。GTを招き日野の歴史をうかがったり、港湾見学をして佐世保港の発展について学習したりすることで、地域のことをより深く知ることができた。また、歴史文化博物館と連携し、出前授業などを行ったり、自分たちで長崎の町を歩いたりすることで、長崎の歴史や文化について学習した。



ゲストティーチャーの話



港湾見学の様子